

2016年の記録



撮影：川辺明伸

ハケ岳の家が完成間近

未来へ

土地探し3年、設計1年、施工1年以上、ゆっくりとしたペースで前へ進み続けている弊所の秘密基地「ハケ岳の家」が完成間近となりました。

これまで防火・構造の技術開発にかかわった木摺しっくい壁、荒壁パネル壁、木材厚板床、板張り外壁などを使った、全国どこにでも同じ仕様で建築可能な木造のシステムであり、桜設計集団がこれから提案していきたい建物のプロトタイプです。躯体と仕上げは木材と漆喰だけでほぼできており、工法や材料の合理化・効率化を行うとともに、建物に必要な性能を自分たちなりに考えて盛り込んでいます。特に、省エネ化のために、建物の断熱性能を向上させ、大きな軒で日射遮蔽に配慮した形態となっています。さらに、商業電源(中部電力)をひかない「太陽光発電・蓄電による独立電源(協力：自エネ組)」、ガスをひかない「太陽熱温水器利用によるお湯とり」、「薪ストーブによる暖房」などを導入し、災害時のライフライン断絶に対処可能な仕組みづくりに取り組み「自分のことは何でも自分でやる」実験住宅と言えます。

来春のグランドオープンに向けて前へ進めていますのでご期待ください。



ウッドデザイン賞受賞

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016

堀切の家が林野庁長官賞受賞

受賞

東京23区内の準防火地域に建築した“堀切の家”の取り組みが、ウッドデザイン賞2016の優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。建築主・桜設計集団(設計)・鯉組(施工)と奈良吉野・鳥取・岐阜東濃・埼玉飯能・福島会津をはじめとする木材産地の方々と地産都消の取り組みと、木材をあらわにした防火構造・準耐火構造の外壁・軒裏の技術開発と設計実践、普及啓発活動が評価されました。自分たちがやってきたことが間違いではなかったと自信になったので、来年は設計業務にさらに力を入れていきたいと思っています。



京都事務所が広がってさらにまちなかに

未来へ

昨年開設した京都まちなか事務所ですが、素敵なご縁につながり、さらにまちなか(寺町二条)に引越することになりました。京町家の敷地に建ったビルで、うなぎの寝床型の奥に長い事務所です。20名程度のセミナーやお稽古ができるスペースもつくりますので、たくさんの方とつながる場所にしていきたいと思っています。平成29年1月13日よりオープンします。京町家の改修から中大規模木造の設計まで何なりとご相談ください。



高知自治会館(構造・防火)

設計

高知県・木造6階+免震

日本初の木造6階建て事務所建築が竣工。1~3階をRC造(中間層免震)、4~6階を木造とした津波避難ビルの機能をもつ耐火建築物。[設計：細木建築研究所]



撮影：堀切

わらしべの里共同保育園(構造・防火)

設計

埼玉県・木造2階

準耐火建築物として内装制限を除外した保育園。地元のスギを、柱・はりの燃えしる設計や床・壁の仕上げ材へ活用。やわらかいスギが好評。[設計：アトリエフルカワ]



逗子の家(構造)

設計

神奈川県・木造2階(構造)

昭和35年に建築家清水一と水澤工務店が手がけた邸宅の改修。耐震及び断熱性能等の改善と既存意匠復元を行った。[設計：和温スタジオ、施工：鯉組]



ウイスキー蒸溜所(構造)

設計

静岡県・鉄骨造2階+木造屋根

鉄骨フレームの上に木と鉄のハイブリッドトラスをかけたような架構。木と鉄の長所を活かした合理的な設計。[設計：WEST COAST DESIGN]



多福院(意匠・構造)

設計

埼玉県・木造平屋

開放的な間取りや開口部を変更せずに、耐震壁の高耐力化、小屋裏のブレース補強による本堂の耐震改修。[施工：中島工務店]



スギを使った準耐火構造壁の開発(防火)

技術開発

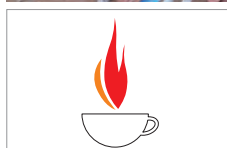
全国どこでも手に入る厚さ11~18mmのスギ板を被覆材に使った準耐火構造の外壁と間仕切壁を実用化。山とまちが一体になった技術開発が新たな活用を生む。[JBN]



焼スギ研究

未来へ

古くから西日本を中心に、外壁の仕上材に用いられてきた焼スギ板を“古くて新しい”素材として、性能や工法を再評価。夏には実践編として焼スギ製作ワークショップ(火育)を開催。[焼杉研究会]



防火ふえ(防火+CAFÉ)

未来へ

多様化する木造防耐火の設計手段について、より多くの方に周知・理解してほしいとの想いから、コーヒーでも飲みながら気軽に相談できる場＝防火ふえを開店。詳細はブログ・FBにて。



連載・講演

普及啓蒙

雑誌“日経アーキテクチャー”、“建築士”にて、月に一度、木造防火に関する原稿を連載。また、木造防火・構造に関する講演・レクチャーが、延べ100回/年を超える。空前の木造ブーム！



team Timberize

普及啓蒙

東京と大阪にて、“Cross Laminated Timberize—CLTはじまりました—”を開催。高知県では設計実習付き講習会(高知県林業学校)を企画。恒例のバスツアーは板ガラス&せっこうボードの工場見学。



木造防火シンポジウム

普及啓蒙

中大規模木造普及のために“火事には負けない木造の幼児・福祉施設をつくる”を企画。東京大学弥生講堂に200名超集まる。同時に作成した資料集“中大規模木造建築の防耐火設計”は即日完売。[木の建築フォーラム]



大人の遠足[北陸]

学び

毎年恒例。今年は富山・新湊内川街並み、YKK AP工場、石川・輪島街並み、輪島塗、能登ヒバ、朝市、造酢工場、地元の方々と交流し北陸を頭と胃袋で学ぶ。来年はいざ、イタリアへ！